

第73回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた  
楽天モバイル株式会社への追加質問及び回答

問 着信接続料収入への依存が大きい事業者にとって、これがゼロになってしまうビル&キープ方式は、経営に甚大な影響があることが指摘されています。そのような事業者にまでビル&キープ方式を強要することは無理があると思われ、論点整理案の通り選択制とすることが良いと考えます。その上で、ビル&キープ方式を望まない中小規模の事業者等に対してビル&キープ方式と従来の精算方式のどちらも選択できることを保証することも制度上必要だと思われれます。

その場合、約款化の必要性の有無、約款化した場合の呼種、接続形態等の条件付けについて、どのような措置が必要だとお考えですか。

(関口構成員)

(楽天モバイル株式会社回答)

○指定設備設置事業者のビル&キープ方式の選択可能化に関しては、交渉上の優位性及び情報の非対称性を配慮すると、どちらを選択するかは指定設備設置事業者側の選択、つまり強制ではなく、接続事業者側が選択できることが望ましいと考えます。

したがって、接続約款において、事業者間協議の適正性を確保する観点から従来の精算方式に加え、ビル&キープ方式を接続事業者側が選択できることを規定して頂く必要があると考えます。

以上